

360度

視界に入る すべてが絶景。

福智山山系の最高峰であり、直方市のシンボルである福智山。その標高は900・8メートルで、市内のほとんどの場所から見ることができます。福智山と遠賀川が織りなす自然空間は、市の貴重な財産です。

また、福智山は人との関わりが深く、飛鳥時代に僧・釈教順しやくきょうじゆんが開山したと伝えられています。西側の鷹取山たかとりやま（633メートル）には、平安時代に長谷川兵部卿吉武ひょうかべふりたへえが築城。関ヶ原の合戦後は、黒田節で有名な母里太兵衛ぼりたへえが城主となりました。その後、鷹取城は江戸時代初期（1615年）の一国一城令により、廃城となりました。

現在、山頂にある石垣等は、江戸時代に入って大修築されたものです。そして令和の今、福智山や鷹取山は、市内だけでなく、市外からも多くの登山者たちを迎えています。

福智山は、福智山ダム登山口（直方市）や上野登山口（福智町）、ます淵ダム登山口（北九州）など、初心者から上級者まで楽しめる登山ルートが多彩にあります。また、登山道の多くは九州自然歩道として整備されているため、安心して登ることができます。

道中は四季に移ろう自然を楽しめるほか、山頂一带にクマザサが広がっています。さらに山頂は大きな木々がないため、360度の絶景をひとり占め。眼下には、あなたが暮らす直方市の街並みをのぞむことができます。

現在、皆さんは新型コロナウイルスの影響による新しい生活様式の実践で、家で過ごす時間が増えていると思います。もうすぐ、秋です。福智山や鷹取山に登って、美味しい空気と絶景をいただきませんか。

特集

GO TO 福智山